

公共下水道一時使用の推定排水量の計算方法

1 湧水

$$\begin{aligned} & \text{ポンプ能力(1分間当たりの揚水量 } \ell \text{)} \times 0.6 \times \text{ポンプ台数} \\ & \times 1 \text{日当たりの平均ポンプ稼動時間} \times \text{根切り期間} \div 1,000 = \text{m}^3 \end{aligned}$$

$$\ell \times 0.6 \times \text{ポンプ台数} \times \text{分} \times \text{日数} \div 1,000 = \text{m}^3$$

2 雨水

$$\text{年間平均降水量} \times \text{敷地全体面積} \times \text{根切り期間} \times \text{流出係数} \div 1,000 = \text{m}^3$$

$$1,400 \text{ mm/年} \times \text{m}^2 \times \text{日} / 365 \text{ 日} \times 0.7 \div 1,000 = \text{m}^3$$

1,400 mm/年については横浜の平均降水量

3 雑排水

$$1 \text{日当たり平均排水量} \times 1 \text{日当たり平均作業員数} \times \text{全体工期日数} \div 1,000 = \text{m}^3$$

$$\ell \times \text{人} \times \text{日} \div 1,000 = \text{m}^3$$

1日当たりの雑排水量(水洗トイレ25 ℓ 手洗い5 ℓ 清掃5 ℓ)

4 工事用排水等

ウェルポイント工法

ディープウェル工法

その他工事用排水などが発生する場合

$$1+2+3+4=\text{推定総排水量 (m}^3\text{)}$$

* この計算表は推定排水量について提出していただくものです。

実際の排水量は、許可書に添付する一時使用報告書で、月ごとに報告してください。

下水道使用料は、実際の排水量に基づいて発行する納入通知書で、期日までに納めてください。